

11. 肝炎ウイルス（B型・C型）、HIVの消毒法

【感染経路】¹⁾

肝炎ウイルス（B型・C型）やヒト免疫不全ウイルス（HIV）は、いずれも血液媒介感染であり、血液を介してヒトからヒトへ伝播する。皮膚に創があり患者の血液で汚染されれば感染する可能性がある。医療機関では、輸血、針刺し・切創、粘膜曝露等で感染する。

【有効な消毒薬】¹⁾（表）

高水準消毒薬（グルタラル、フタラル、過酢酸）や中水準消毒薬（次亜塩素酸ナトリウム、アルコール系（消毒用エタノール等）、ポビドンヨード）が有効である。また、熱水消毒（80℃・10分間等）も有効である。

【環境の消毒法】²⁾

B型肝炎ウイルスやHIVのキャリア（保菌）患者の環境消毒は、通常不要だが、血液等で汚染された箇所の消毒は必要である。血液等の体液で汚染された箇所は、消毒用エタノールや0.1～1%次亜塩素酸ナトリウムをしみ込ませたガーゼ等で拭き取る。2度拭きが望ましい。

なお、次亜塩素酸ナトリウム清拭では、材質劣化防止のため、適用5分間以上経過後に水拭きや、アルコール系（消毒用エタノール等）による清拭が必要になる場合がある。

【器具やリネン類の消毒法】²⁾

耐熱性の器具やリネン類の消毒には、熱水消毒（80℃・10分間等）が最も適しており、ウォッシャーディスインフェクター^{※3}や熱水洗濯機等を用いた熱消毒を行う。また、これらの熱消毒装置がない場合には、高水準または中水準の消毒薬を使用する。

表 肝炎ウイルス（B型・C型）、HIVの消毒法¹⁾

対象物	消毒法 ^{※1}
床等に付着した血液	・0.5%次亜塩素酸ナトリウムやアルコール系（消毒用エタノール等）をしみ込ませたガーゼ等で拭き取る。
銅製小物	・2～3%グルタラルや0.55%フタラルに10分間浸漬。 ・0.3%過酢酸に5分間浸漬。 ^{※2} ・ウォッシャーディスインフェクター ^{※3} （93℃・10分間等）。
内視鏡	・2～3%グルタラルや0.55%フタラルに10分間浸漬。 ・0.3%過酢酸に5分間浸漬。
リネン類	・熱水洗濯（80℃・10分間等）。 ・0.05～0.1%次亜塩素酸ナトリウムに30分間浸漬。

※1 濃度表示は、アルコール系はvol(v/v)％、その他はw/v％。

※2 金属腐食性の視点から10分間を超える浸漬は行わない。

※3 ウォッシャーディスインフェクター（Washer-Disinfector：WD）は、汚染した器材を「洗浄→すすぎ→熱水消毒→乾燥」まで自動で行う装置のことである。³⁾ WDはウイルス汚染器材の第一選択消毒法である。²⁾